

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	絶滅危惧Ⅰ類	河川敷草地や農耕地の生息環境が悪化し、生息情報がなくなった。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧Ⅱ類
ハト	ハト	カラスバト	<i>Columba janthina janthina</i>	絶滅危惧Ⅰ類	県西部の離島にのみ生息し、個体数は減少傾向にある。		絶滅危惧IA類	準絶滅危惧
カソオドリ	ウ	ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	冬季に土佐湾沿岸の岩礁に少数が飛来する。			絶滅危惧IB類
ベリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>	絶滅危惧Ⅰ類	生息に適した湿地が減少し、確認個体数も少ない。			絶滅危惧IB類
ベリカン	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖地の湿性植物群落が減少し確認情報も少なくなった。		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	圃場整備された地域で個体数が減少している。		絶滅危惧IB類	
チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	飛来地が限られており、圃場整備により個体数が減少している。		絶滅危惧IA類	情報不足
チドリ	シギ	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	絶滅危惧Ⅰ類	過去に四国カルストの繁殖記録はあるが、久しく繁殖の確認はない。		絶滅危惧IA類	準絶滅危惧
チドリ	シギ	コシャクシギ	<i>Numenius minutus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	まれに渡りの時期に単独もしくは小群で農耕地に飛来。		絶滅危惧IA類	絶滅危惧IB類
チドリ	シギ	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	絶滅危惧Ⅰ類	河口干潟や農耕地に単独もしくは小群で飛来。		絶滅危惧IB類	
チドリ	シギ	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	絶滅危惧Ⅰ類	河口干潟や農耕地に単独もしくは小群で飛来。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	カモメ	コアジサシ	<i>Sternula albifrons</i>	絶滅危惧Ⅰ類	県内数箇所の河川敷や海岸で繁殖するが、繁殖環境が悪く失敗することが多い。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧Ⅱ類
タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	近年、個体数は回復基調にあるが、繁殖個体は多くはない。		絶滅危惧IB類	準絶滅危惧

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
タカ	タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	里山の森林開発によって繁殖環境が悪化している。		絶滅危惧IB類	準絶滅危惧
タカ	タカ	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく個体数は少ない。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧IB類
タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖確認事例は増えたが、繁殖個体は少ない。		絶滅危惧IA類	準絶滅危惧
タカ	タカ	クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖環境の森林の伐採や開発などにより繁殖個体は少ない。		絶滅危惧IA類	絶滅危惧IB類
フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus scops</i>	絶滅危惧Ⅰ類	生息に適した自然林が限られ生息数は少ない。		絶滅危惧IB類	
フクロウ	フクロウ	コミミズク	<i>Asio flammeus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく個体数は少ない。		絶滅危惧IB類	
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖確認事例は増えたが、繁殖適地は少なく個体数は多くはない。		絶滅危惧IA類	絶滅危惧Ⅱ類
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖の確認事例は増えたが、繁殖個体は少ない。		絶滅危惧IA類	絶滅危惧IB類
スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	繁殖個体数が減少しており、亜種リュウキュウサンショウクイに置き換わってきている。		絶滅危惧IA類	絶滅危惧Ⅱ類
スズメ	カラス	ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>	絶滅危惧Ⅰ類	四国山地の亜高山帯にごく少数が生息する。		絶滅危惧IA類	
カモ	カモ	ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	約300羽が越冬するが、生息環境の悪化により減少する可能性がある。		絶滅危惧Ⅱ類	
カモ	カモ	ハシビロガモ	<i>Spatula clypeata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	飛来数の年変動が大きく、最大羽数も100羽でほどしか越冬していない。		絶滅危惧Ⅱ類	
カモ	カモ	トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>	絶滅危惧Ⅱ類	飛来数の年変動が大きく、平均して20羽ほどが越冬している。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧Ⅱ類

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>	絶滅危惧Ⅱ類	県西部の離島で繁殖するが、釣り人の上陸と天敵の侵入により繁殖への影響が危惧される。		絶滅危惧Ⅱ類	
ペリカン	サギ	ミソゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	絶滅危惧Ⅱ類	里山の開発等で生息環境が悪化し生息情報も減少。		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
ペリカン	サギ	ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	繁殖コロニーが著しく減少し、個体数が減少。		準絶滅危惧	
ツル	ツル	マナヅル	<i>Antigone vipio</i>	絶滅危惧Ⅱ類	越冬のために数羽が飛来することがあるが、個体数は減少傾向にある。		絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
ツル	ツル	ナベヅル	<i>Grus monacha</i>	絶滅危惧Ⅱ類	越冬のため数十羽が飛来するが、個体数の年変動が大きく越冬群の定着はまれ。		絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	チドリ	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	絶滅危惧Ⅱ類	河口干潟や農耕地の生息環境が悪化。		絶滅危惧Ⅱ類	
チドリ	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	絶滅危惧Ⅱ類	山間部から平地の生息環境が悪化し情報量も減少。		準絶滅危惧	
チドリ	シギ	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	絶滅危惧Ⅱ類	湿田、湿地等生息環境が減少。			
チドリ	シギ	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	絶滅危惧Ⅱ類	河口干潟や農耕地に少数が飛来。		絶滅危惧Ⅱ類	
チドリ	シギ	キリアイ	<i>Calidris falcinellus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	河口干潟や農耕地に少数が飛来。		絶滅危惧Ⅱ類	
チドリ	タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	絶滅危惧Ⅱ類	湿田、湿地等、繁殖環境が減少。		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	ウミスズメ	カンムリウミスズメ	<i>Synthliboramphus wumizusume</i>	絶滅危惧Ⅱ類	県西部の離島で繁殖。		絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
タカ	タカ	ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく、個体数は少ない。		絶滅危惧Ⅱ類	

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	山地から平野に飛来して越冬するが、越冬環境が悪化。		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
タカ	タカ	サシバ	<i>Butastur indicus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	山地から低山地に飛来して繁殖するが、個体数は減少。		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
タカ	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	絶滅危惧Ⅱ類	山地から平野に飛来して越冬するが、越冬環境が悪化。		絶滅危惧Ⅱ類	
フクロウ	フクロウ	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	営巣木の減少など繁殖環境の悪化。		準絶滅危惧	
ブッポウソウ	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	絶滅危惧Ⅱ類	県内数箇所まで営巣地減少。巣箱設置による保護対策中につき現状維持とする。		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧IB類
スズメ	ツバメ	コシアカツバメ	<i>Cecropis daurica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	営巣地が減少。減少理由は不明。		準絶滅危惧	
スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	絶滅危惧Ⅱ類	繁殖環境のオギ、ヨシ原などの減少。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	コマドリ	<i>Larvivora akahige</i>	絶滅危惧Ⅱ類	ニホンジカによる林床への食害等に伴い、生息環境が悪化。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	コルリ	<i>Larvivora cyane</i>	絶滅危惧Ⅱ類	ニホンジカによる林床への食害等に伴い、生息環境が悪化。		絶滅危惧Ⅱ類	
スズメ	ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	四国カルストで繁殖。冬季は平地で越冬する。		絶滅危惧Ⅱ類	
スズメ	ホオジロ	カシラダカ	<i>Schoeniclus rustica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	国内外で個体数が減少傾向。県内も減少。		準絶滅危惧	
スズメ	ホオジロ	オオジュリン	<i>Schoeniclus schoeniclus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	越冬環境のヨシ原など草地環境の減少。		準絶滅危惧	
キジ	キジ	シコクヤマドリ	<i>Symaticus soemmerringii intermedius</i>	準絶滅危惧	低山地の山林伐採などで生息環境が悪化し個体数の減少が推測される。		情報不足	

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
ペリカン	サギ	チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i>	準絶滅危惧	繁殖地が減少、個体数も減少傾向。		準絶滅危惧	準絶滅危惧
ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i>	準絶滅危惧	繁殖地の湿地や水田などの生息環境が悪化。			準絶滅危惧
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococcyx fugax</i>	準絶滅危惧	山間部の限られた分布域で生息を確認。		準絶滅危惧	
カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	準絶滅危惧	山間部の限られた分布域で生息を確認。		準絶滅危惧	
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka jotaka</i>	準絶滅危惧	一時期急激に個体数が減少。近年確認情報が得られ始めた。		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	準絶滅危惧	農耕地や河川敷など生息環境が悪化。		準絶滅危惧	
チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	準絶滅危惧	河川敷など生息環境が悪化。			
チドリ	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	準絶滅危惧	農耕地や河川敷など生息環境が悪化。			
チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	準絶滅危惧	海浜や河川敷など生息環境が悪化。			絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	準絶滅危惧	湿地、湿田等の生息環境が減少している。		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	シギ	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	
チドリ	シギ	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
チドリ	シギ	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
チドリ	シギ	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	絶滅危惧II類
チドリ	シギ	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	準絶滅危惧
チドリ	ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	絶滅危惧II類
チドリ	カモメ	アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	準絶滅危惧	河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。		準絶滅危惧	
フクロウ	フクロウ	キュウシュウフクロウ	<i>Strix uralensis fuscescens</i>	準絶滅危惧	営巣木の減少など繁殖環境の悪化。		準絶滅危惧	
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	準絶滅危惧	営巣木の減少など繁殖環境の悪化。		準絶滅危惧	
ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	準絶滅危惧	繁殖環境(土崖)の減少。		準絶滅危惧	
キツツキ	キツツキ	ナミエオオカグラ	<i>Dendrocopos leucotos namiyei</i>	準絶滅危惧	繁殖環境が標高の高い山林に限られる。		準絶滅危惧	
ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>	準絶滅危惧	渡りの時期に通過する個体が確認される。		準絶滅危惧	
スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	準絶滅危惧	里山で繁殖するが個体数が減少。		準絶滅危惧	
スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Seicercus xanthodryas</i>	準絶滅危惧	繁殖環境が標高の高い山林に限られる。		準絶滅危惧	
スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ	<i>Seicercus borealoides</i>	準絶滅危惧	繁殖環境が標高の高い山林に限られる。		準絶滅危惧	
スズメ	キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	準絶滅危惧	山林に少数が生息する。		絶滅危惧II類	

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera aurea toratugumi</i>	準絶滅危惧	広葉樹林が少なく生息個体数も少ない。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	準絶滅危惧	広葉樹林が少なく生息個体数も少ない。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	準絶滅危惧	四国山地は国内の繁殖地の南限。冬は低山地の山林で越冬。		情報不足	
スズメ	ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	準絶滅危惧	里山で少数が繁殖するが、個体数は少ない。		情報不足	
スズメ	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	準絶滅危惧	個体数は回復傾向にあるが少ない。		準絶滅危惧	
スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	準絶滅危惧	四国山地は国内の繁殖南限地域。		準絶滅危惧	
スズメ	セキレイ	ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	準絶滅危惧	四国山地は国内の繁殖南限地域。		情報不足	
スズメ	ホオジロ	ノジコ	<i>Schoeniclus sulphuratus</i>	準絶滅危惧	国内で局所的に繁殖し、県内では少数が越冬。		情報不足	準絶滅危惧
スズメ	ホオジロ	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	準絶滅危惧	四国山地は国内の繁殖南限地域。		準絶滅危惧	
カモ	カモ	ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	情報不足	越冬する個体数が少ない。		絶滅危惧IB類	
カモ	カモ	ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	情報不足	越冬する個体数が少ない。		絶滅危惧IB類	
チドリ	シギ	アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>	情報不足	生息地が限定され情報が少ない。			
タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	情報不足	過去に繁殖記録があるが、近年繁殖事例がほとんどない。		絶滅危惧IA類	

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>	情報不足	生息情報が少なく、死体の拾得により確認されることが多い。		情報不足	
カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	除外	毎年1500羽ぐらいが安定して確認されている。		準絶滅危惧	情報不足
カモ	カモ	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	除外	増加傾向にあり、1000羽ぐらいが確認されている。		絶滅危惧Ⅱ類	
ツル	クイナ	ツルクイナ	<i>Gallinula cinerea</i>	除外	近年、生息環境で確認情報がない。		情報不足	
チドリ	カモメ	ハジロクロハラアジサン	<i>Chlidonias leucopterus</i>	除外	まれに飛来が確認されることから迷鳥して除外する。		準絶滅危惧	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	除外	生息環境への適応性が強く、県内に広く分布している。		準絶滅危惧	
スズメ	モズ	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	除外	過去に飛来が確認されているが、近年確認情報がない。		情報不足	絶滅危惧ⅠB類
スズメ	カラス	コクマルガラス	<i>Corvus dauuricus</i>	除外	過去に県内で小群が確認されているが、近年はほとんど情報がない。		絶滅危惧ⅠB類	
スズメ	ツリスガラ	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>	除外	過去に県内で小群が確認されているが、近年確認情報がない。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	除外	環境変化への適応性が強く、分布域が拡大し個体数が増加している。		準絶滅危惧	
スズメ	ヒタキ	ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>	除外	年変動はあるが、渡りの時期には普通に観察される。		情報不足	
スズメ	アトリ	コイカル	<i>Eophona migratoria</i>	除外	イカルに混じって小群が飛来することがあるが、近年確認情報がない。		絶滅危惧Ⅱ類	
スズメ	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>	除外	冬鳥として県下に群で飛来するが、個体数の年変動が大きい。		絶滅危惧Ⅱ類	

## 高知県レッドリスト(鳥類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
スズメ	ホオジロ	アオジ	<i>Schoeniclus spodocephala</i>	除外	低山から平地の越冬個体数は多い。四国山地で繁殖している可能性が高く確認できれば国内の繁殖南限地域となる。	注目種	情報不足	
スズメ	ホオジロ	コジュリン	<i>Schoeniclus yessoensis</i>	除外	近年、生息に関する情報がない。		情報不足	絶滅危惧II類